

# 平成28年度 事業計画書

ケアハウス大慈

## 1. 《平成28年度法人ヴィジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

## 2. 《ケア理念》

「手から手へ 忠恕（真心）を込めて」

## 3. 《基本方針》

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、ゲストの人権を尊重し、ご自分らしく心豊かに生活を送っていただけることを目指し努力する。いつでも笑顔を絶やさず、思いやり・真心をこめて接することでゲストとの心のつながりを大切にする。ゲストが安全で健康的な暮らしができるようサポートする。

## 4. 《最終目標》

### ●いきいきのびのびスマイリー運動

みんなが生き生き・みんなが伸び伸び・みんなが笑顔。

(みんなとは、ゲスト・ご家族・職員を指します。)

- ・生きがい・やりがいを大切にします。
- ・自分らしさを大切にします。
- ・自然と笑顔溢れる温かい雰囲気を大切にします。
- ・みんながしあわせになることを目指します。

### ●中期目標

- ①ケアハウス大慈の理念や方向性を周知する。
- ②ケアハウス大慈「らしさ」を共有し、みんなで作り上げていくという風土を作る。
- ③スタッフが福祉職ということやケアハウス大慈に勤めていることに誇りを持つようになる。

### ●平成28年度重点目標

- ①各フロア・部門の予定を職員全員が把握し、予定・計画に基づいた業務の執行をする。
- ②ゲスト・スタッフそれぞれの「満足感」を確立し、顧客・人材の確保に務める。
- ③地域との繋がりを強化し、身近な社会福祉施設としての認知を拡げる。

### ●課題・実践内容

ケアハウスにおいては各フロアで独自に様々な行事を企画・運営しているが、統一性が無く年間の予定・計画もきちんと立案されたものが無いに等しい。行事の多いフロアもあれば少ないフロアもあり客観的にはゲストにとって入居したフロアで不公平が感じられるのではないかとと思われる。

ゲストの状態にもよるが、各フロア・部門間で情報を共有して不公平感のないような生活をゲストに提供する必要がある。

入居に関して、問い合わせはあるが最終的に入居に至らないケースが多々見られる。サービス付き高齢者住宅や、他の種別の施設が区内に建設されている事が少なからず影響しているように思われる。金銭面での安さではサービス付高齢者住宅等には敵わないが、食事面、

ケア面、医療面においてケアハウス大慈でしか味わえない「満足感」を提供していきたい。スタッフに対してもケアハウス大慈で勤めることにより「満足感」が得れるよう、検討していく必要がある。旧来の介護方法・手段にとらわれず認知症ケアに対する新しい手法や介護技術の取得を積極的に行い資質の向上に努め、外部・地域との交流を積極的に図る事でケアハウス大慈の職員としての誇りや自信を持てるようにしていきたい。また職員が安心して勤務ができるよう、業務内容・人員配置を見直し有給休暇取得率の向上を図っていきたい。

## 5. <<部門別重点目標>>

### <ケア部門>

#### ① 考える介護の実施

##### A) 考える介護への環境整備 <<遠藤メソッドの導入(3年計画)>>

- ・遠藤メソッドを基に、介護技術標準を策定しマニュアルの見える化を実現する。
- ・ケアハウス全体会議にて各委員会からの報告を実施することにより、今ある情報を整理、問題解決できる機能を確立する。
- ・マニュアルでは網羅できないゲスト一人一人のサポートにおいてアセスメントシートを活用することにより、サポートの見える化を図り統一する。
- ・ゲストの思いを大切に実現する事で、ケアハウス大慈であるからこそ可能なユニットケアを実施する。

##### B) 考える介護へのスタッフ育成

- ・ゲストの思いや人生を反映し、人物像が浮かぶポジティブライフプランの作成を行う。
- ・ゲストのニーズや生活歴を把握し、ライフプランに繋がる記録の徹底を基に、モニタリングを実施。それによりプランだけではなく生活全般を見直し、個別サポートへの理解、考察力を養う。
- ・内部研修や外部研修への参加、他職種との情報共有を行うことにより最新の情報が得られる環境を整える。
- ・定期的な面談を実施することにより、目標管理を徹底し、職員の意識や行動を変え、抱えている課題や問題を解決する機会を増やす。
- ・業務毎に責任者を配置することで、職員一人一人がチャレンジできる場面を増やす。

#### ② 更なるサービスの向上

##### A) マナー向上

- ・神戸市老人福祉施設連盟主催の接遇指導者研修等を活用しサービス業従事者としてのマナー・接遇の学習を行う。

##### B) 介護技術・知識の向上

- ・平成29年度に神戸市老人福祉施設連盟主催の第三者評価の受審を目指し、施設内の体制を整える。
- ・施設内において介護技術勉強会（知識の取得・介護技術の取得・想像力の取得）開催。
- ・フロア単位の学習会も定期的実施する。

### <経営部門>

#### ① 在園率95%以上、在籍率97%を維持する

- A) 各部署と協同してゲストの疾病予防対策・健康管理を行い入院が避けれるよう、健康の維持を図る。
- B) 入院者が必要最小限の入院期間で退院できるよう、病院と連携し情報の交換に努める。
- C) 待機者の確保に努める。

●見学者の増加

- ・相談員だけでなくフロアのリーダーも見学の際の説明ができるようにし、突発的な見学にも対応をする。
- ・チェリッシュ（レストラン）やシアタールームを地域の方々に開放し、ケアハウス大慈の認知度を上げる。

●見学者から待機者へ

- ・見学者、相談者に対し定期的にお困りでないか連絡を入れる。
- ・ケアハウス便りを発行し（1回／2か月）事業所に配布する。
- ・地域との交流の場所に積極的に参加する。

②人材確保と育成

- ・老人部門全体で協力し、求人媒体の利用や学校訪問等を実施し人材確保に務める
- ・現状のOFF-JTを見直し、施設内研修の充実を図る。
- ・勤務内容・形態の見直しにより有給休暇の取得率向上を目指す。

③加算取得により収入アップを目指す。

- ・特定事業所加算Ⅱ（介護福祉士資格取得割合50%以上）を取得し増収を目指す。
- ・介護福祉士資格取得の為に勉強会を施設内で開催する。

<栄養科>

‘自分だったら’と考えられる厨房になる。

① おいしく、笑顔になれる食事の提供。

- ・食材をきざむことなく、常食・ソフト食・スルー食・ミキサー食（ゼリー）すべての方が、何を食べているのかが分かり、食べたいと思える食事の提供を継続する。
  - ・細かいゲストの要望に応えられるように、一人一人の好みを把握する。
- 厨房の業務を見直し時間を作ることで、副菜や添え物等の細かいニーズに応える。
- ・配膳方法を見直し、食事をより美味しく召し上がって頂けるような提供を行う。

② 食事や食事行事について、チェリッシュ委員会や担当者会議にて、スタッフ同士の意見交換がスムーズに行えることで美味しい食事の提供を行う。

- ・ゲストの満足度を調査し（年2回）、おいしい又は満足と答えて下さる方を全体の75%以上を目標とする。
- ・今まで提供していなかった要望の多い刺身や軟らかい肉などのメニューを行事食・特別食として取り入れる。
- ・郷土料理など、季節を感じて頂ける行事食や、月に1度は新しいメニューを取り入れる。

③ 栄養面を考えた食事の提供とサポート方法の提案

- ・食事サポート方法や嚥下について研修会等に参加して学び、個々のゲストに合ったサポート方法を介護スタッフへ提案する。
- ・よりスムーズに安心・安全に喉を通り、必要な栄養量が確保できる食事を提供する。
- ・スタッフに大慈園で提供している食事についてより理解を深める。

<看護部>

① 生きる事に喜びをもてるよう、サポートを行う。

●健康である事をサポートする。

- ・肺炎予防、尿路感染症予防、褥瘡予防、脱水予防に取り組む。
- ・感染症発症時の対策の強化を行う。
- ・外部受診時にスムーズな連携を行い対応する。
- ・ゲストとのコミュニケーション密に図り不安やニーズを把握する。

- ② ゲストが人生の最期を迎えるにあたり最良の選択ができるサポートを行う。
- ・ゲスト個々のリビングウィルの作成を行う。
  - ・看取り期におけるケアカンファレンス時の家族との連携の強化を目指す。
  - ・看取り期の介護の質の向上を目指す。

<年間業務>

月	項目	内容
5月	ゲスト定期検診	胸部 X 線、採血
6月	全職員定期検診	胸部 X 線、採血、検尿、検便、心電図、 腰椎 X 線 (介護職員のみ) 等
10月	全職員	インフルエンザ予防接種
11月	ゲスト	インフルエンザ予防接種
	ゲスト・介護職員定期検診	採血
随時	雇入時健診	胸部 X 線、採血

<週間診療表>

曜日	午前 午後	診療科目	頻度
月	午前・午後	内科	毎週
火	午前・午後	内科	毎週
	午後	精神科	毎週
水	午前	整形外科	毎週
	午後	皮膚科	月 2 回
		歯科	毎週往診
木	午前	内科	毎週
	午後	内科	毎週
金	午前	内科	毎週
	午後	内科	毎週
		糖尿内科	毎週
土	午前	内科	毎週
	午後	精神科	毎週

※眼科・耳鼻科等は、外部へ随時受診。

※外部主治医往診可能

<理学療法科>

- ① ケアの質向上に資する取組
- 24時間×365日のケアを意識し、全てのサポートをゲスト・スタッフ双方にとって優しいサポートとなるように修正・提案する。
    - ・現場でサポート方法を確認し、口頭・書面にてサポート方法を伝える。
    - ・定期的にサポート方法 OJT を実施し、スタッフが現場で活かせる知識を提供する。
  - コミュニケーション方法・福祉用具の使用促進・生活環境での調整を現場で行う。
    - ・ユマニチュード等、認知症の方とのコミュニケーション方法を積極的に活用する。
    - ・各委員会での報告・確認を密に行う。
- ② ゲストの活動量増加に対する取り組みを充実させる。
- 現状の機能訓練体制を維持し、機能訓練を通してゲストの活動量を増やす。
  - 体操など、ゲストが活動できる場を作る。

6. 《ケアハウス大慈の特徴》

○入浴

一般浴（大浴場・個浴）・特浴・中間浴をゲストの状態や好みによって、選択出来ます。入浴回数や時間についても、出来る限り希望に添えるようにします。（週2回以上）

○排泄

個々の状態にあわせた排泄サポートを検討し、出来るだけトイレを使用し自立支援を目指している。

○食事

リビングで食べて頂く事を基本とし、個々の状態に応じて治療食、ソフト食やスルー食等を提供する。ご自身のお箸やお茶碗、お湯呑みを使って頂くことやフロアのキッチンでご飯を炊くことで家庭に近い雰囲気を感じて頂ける様にしている。

温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べて頂くためにおかずの盛り付けもフロアのキッチンで行っている。陶器の食器を使用し、味だけではなく見た目も大切にしている。

○生きがい作り

お誕生日のお祝いには、プレゼントを用意し、職員と外出する機会を持つ等、個々の希望に合わせて行っている。

畑と一緒に収穫した野菜を、レストランやバイキングでの行事食で提供している。

にぎり寿司パーティーを年に1回行っている。

気候の良い時期には、外出行事を企画する。

ミュージックセラピー・フラワーセラピー・リハビリ体操を実施している。

お祭りにご家族も招待し、一緒に楽しんでいただいている。

○その他

レストランや美容室の設備が充実しています。

生きがいデイサービスの場として、地域の方にレストランを提供している。

職員配置は、ゲスト2名に対して職員1名とし、ユニットケアを行っている。

7. 《職員会議》

頻度	会議名			
毎月1回	正副施設長会議	大慈な会議	事務部会	会計会議
随時	ケアカンファレンス			

8. 《衛生》

害虫駆除（年2回）・寝具交換（週1回）

9. 《苦情処理》

各部署に担当者を明記し、随時受け付け口頭・書面で上司に報告し敏速な対応を行う。

10. 《委員会活動》

	内 容
委員会名	チェリッシュ委員会
頻度・時間等	毎月第三水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	ケアハウス大慈の食事をより良いものにすることを目的とし、料理教室やスナック等の行事を企画する。また、ゲストの体重や食事摂取量から、変化を発見し対応を検討する。

	内 容
委員会名	行事委員会
頻度・時間等	毎月第二水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	行事を企画、実行していく。大慈園広報委員会にも必要に応じて参加し、連携を図る。

	内 容
委員会名	災害・設備委員会
頻度・時間等	偶数月第一金曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	非常災害時に対する防災意識の向上や警戒発令時の迅速な対応等、総合的な推進を図り、被害を軽減する。また委員が、大慈園の非常災害時対策委員会にも参加し災害に対して連携を図れるようにする。 施設設備の保守に関する問題点や改善案を話し合い、実施する。 A) 避難訓練消火訓練の実施（月1回） B) 消火器、自動火災通報装置の使用方法等、防災教育の実施

	内 容
委員会名	感染症防止対策委員会・エコ節約委員会
頻度・時間等	毎月第一火曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	感染症・食中毒の予防まん延防止に関する指針に基づき、マニュアルの作成や見直し・標準予防策・職員研修等を検討・実施する。 節電・節水を実施し、エコロジーな施設を目指すと共に無駄を無くし節約に取り組む。

	内 容
委員会名	RM委員会
頻度・時間等	毎月第二木曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	事故報告書の検討・ドキドキ報告書を基に再発防止の対応を検討し、実施する。また定期的にマニュアルの見直しを行う。

	内 容
委員会名	サービス向上委員会
頻度・時間等	毎月第四水曜日 9時15分～10時30分
目的・内容	ゲストに対してのサービスの向上を目的としており、その為実践する方法を提案する。

	内 容
委員会名	褥瘡検討・身体拘束廃止委員会
頻度・時間等	毎月第四水曜日 10時30分～12時00分
目的・内容	ゲストの褥瘡の状況を把握し改善方法を検討する。また、施設内において不適切なケアが行われていないか協議をする。

	内 容
委員会名	入浴委員会
頻度・時間等	不定期 16時15分～17時45分
目的・内容	入浴のスケジュールや清掃、サポート等の入浴に関する全ての事を話し合い、より良い入浴を目指す。

	内 容
委員会名	排泄委員会
頻度・時間等	不定期 16時15分～17時45分
目的・内容	排泄について話し合いゲストが心地よく過ごせるための改善方法を提案・実施していく。

\*人事委員会・事業戦略・労働衛生・予算委員会については、大慈園と同じ

### 1 1. 《月間行事》

行事	頻度	行事	頻度
音楽療法	毎月2回	衣料販売	隔月1回
大正琴	隔月1回	絵手紙	毎月1回
シルバー体操	毎週水曜日	フラワーセラピー	毎月1回
買い物ツアー	毎週木曜日	歌とお話の会	毎月1回
ギター演奏	隔月1回		

### 1 2. 《年間行事》

月	行事	月	行事
4月	お花見、ティータイム	10月	ティータイム、スナックちいちゃん、屋台風
5月	母の日、子供の日	11月	スナックちいちゃん
6月	父の日、ティータイム、スナックちいちゃん	12月	クリスマス会、餅つき、ティータイム
7月	七夕、オープン記念	1月	おせち、七草粥、鏡開き、
8月	ティータイム	2月	節分、バレンタインデー、ティータイム、スナックちいちゃん
9月	敬老の日、焼き芋、お祭り	3月	雛祭り、にぎり寿司

\*その他、おやつ作り・バイキング等の食事会・外出行事・外食行事をフロアごとに実施

### 1 3. 《職員配置》

施設長	副施設長	生活相談員	介護支援 専門員	看護職員 (パート)	管理栄養士
1名	1名	1名	3名	2(1)名	2名
事務員 (パート)	介護職員 (正職)	介護職員 (パート)	介護職員 (派遣職員)	機能回復 訓練士	運転手 調理師
2(1)名	41名	13名	3名	1名	1名